

## 地球温暖化防止

ムラタの事業活動で排出される温室効果ガスは、その大部分が生産時のエネルギー消費によって発生するCO<sub>2</sub>であり、地球温暖化防止として、エネルギー消費量の削減を積極的に進めています。

### CO<sub>2</sub>排出量の状況

ムラタでは、2003年度のCO<sub>2</sub>排出量を売上高原単位で1990年度比10%削減の目標をかかげ、省エネルギーの取り組みを実施してきました。

2003年度の取り組みによりCO<sub>2</sub>排出量は年間24,609t(推定)

の削減を行いましたが、商品価格の下落や生産数量の増加などの変動などが原因で、1990年度比43%の悪化となり、目標を達成することはできませんでした。

### 2003年度の取り組み

#### 省エネ診断の実施

省エネルギーを推進するために、社内の専門家グループによる省エネ診断を実施し、エネルギーの消費効率改善を行っています。

#### 空調用冷温水ポンプへの変流量制御\*の導入

岡山村田製作所で、空調用冷温水発生機の冷水1次ポンプを負荷に合わせて直接流量制御する変流量制御を導入し、年間205tのCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

同様に小松村田製作所で、空調温水用ポンプに変流量制御を導入することで年間41tのCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

\* 変流量制御  
変流量制御とは、従来のインバータポンプの制御を直接流量などで検出制御するもので、大きな省エネルギー効果があります。

#### 空調熱源配管の連結による運転効率改善

福井村田製作所宮崎工場で、建物別にある空調用熱源の配管を連結し、熱源機器の運転効率を改善することで、年間1,150tのCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

#### 高効率照明への更新

小松村田製作所、富山村田製作所、出雲村田製作所で、照明器具を高効率照明に一齐更新し、年間57tのCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

2004年度は国内グループ全体で照明器具を高効率照明に更新することで、年間2,000tのCO<sub>2</sub>排出量を削減する計画です。

#### 圧縮空気消費の改善

生産で使用する圧縮空気の使用方法的改善と漏れを削減することで、年間1,970tのCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

#### 熱処理炉の効率改善

熱処理炉の使用条件を改善することで、年間462tのCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。



変流量制御



空調連結



高効率照明への更新



圧縮空気消費の改善

### 今後の取り組み

2004年度から、新たに「2008年～2010年度のCO<sub>2</sub>排出の売上高原単位を1998年～2000年度比で10%削減」の目標を設定し、取り組みを進めていきます。

- ・ コージェネレーションシステムの増設
- ・ 空調機の高効率機器への更新
- ・ 各種インバータ機器の導入

CO<sub>2</sub>排出量と売上高原単位90年度比の推移(国内合計)

